

## 会議録(1)

会議の名称	第8回入間市地域公共交通協議会
開催日時	平成29年5月17日(水) 午前13時30分開会・午後16時00分閉会
開催場所	入間市役所5階全員協議会室
議長氏名	埼玉大学大学院理工学研究科環境科学・社会基盤部門 教授 久保田 尚
出席委員(者)氏名	別紙1のとおり
欠席委員(者)氏名	別紙1のとおり
説明者の職氏名	入間市 都市整備部 副参事 藤田拓也 " 都市計画課 主事 大野裕太 国際航業株式会社 社会インフラ部 グループ長 植木健一 " 主任技師 生田紀子
会議次第 (公開・非公開の別)	【公開】 別紙2のとおり
非公開理由	—
傍聴者数	4名
配布資料	別紙2のとおり
事務局職員職氏名	入間市 都市整備部 都市計画課 課長 瀧澤良生 " 副参事 藤田拓也 " 都市計画課 主事 大野裕太
会議録作成方法	要点筆記

## 会議録（２）

### 議事の概要（経過）・決定事項

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議題
  - (1) 委員の交代
  - (2) 平成 28 年度の振り返り
  - (3) 「元気なバス需要創出モデル事業」状況報告
  - (4) ていーろーど、（仮称）ていーワゴンのルート（案）
  - (5) （仮称）ていーワゴン運行要領（案）
  - (6) 料金体系について
  - (7) 今後のスケジュール
4. その他
5. 閉会

## 会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
1. 開会	
2. 会長挨拶	
久保田会長	<p>昨年度は何度も協議会や分科会に足を運んでいただき、熱心にご意見をいただきました。ありがとうございました。おかげさまで様々な成果が挙がってきたと思っています。これからご紹介いただきます元気なバス需要創出モデル事業がスタートしたと伺っております。ご報告を楽しみにしています。また、ていーろーど、ていーワゴンの新しい方向性について今日も議論していただきたいと思っております。県内を伺うと入間の取り組みが非常に有名になってきており、県内のある自治体でバスのことを議論しようとする、まず入間に来て教えてもらう状況も生まれているようです。ますます先進的な取り組みということで、さらに進めていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いします。</p>
3. 議題	
事務局	(委員の交代)
	(所管部門の変更)
藤田委員 (代理)	(挨拶)
事務局	(資料-2 平成 28 年度の振り返り)
	(資料-3 元気なバス需要創出モデル事業状況報告)
畦地委員	<p>元気なバス需要創出モデル事業におけるバス運行は、3 月 25 日から開始しており、県内初の事例となる。他の自治体でも進められているので、参考に事例を紹介させていただく。</p> <p>小川町でも 3 月 25 日に運行を開始した。小川町駅～小川パークヒル間を川越観光自動車が行っているが、その途中に小川赤十字病院がある。近隣市の病院利用者も含め、通院の支援として運行を始めたものである。入間市は企業の前にバス停を設けているが、小川町は病院の敷地内にバス停</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>久保田会長 藤田委員 (代理) 事務局</p> <p>山内委員</p>	<p>を設けているモデルである。</p> <p>川島町では、5月22日からの運行を予定している。東武東上線若葉駅から川島インター産業団地、川島町役場へのアクセスを目的としている。東武バスウエストと連携し、役場駐車場を利用したパーク&amp;ライドの取り組みも併せて実施している。地元の悲願であったというところで、開通式が予定されるなど、地域も盛り上がっているところである。</p> <p>加須市では、既存路線の延伸による東鷲宮駅から工業団地への通勤支援として、5月31日から運行開始予定である。工業団地で働く外国人従業者への通勤支援としても位置付けられている。</p> <p>入間市の事例を契機に、県内にこの事業が広がっている。バスは単に通せばいいというわけではなく、その取り組みが好事例につながる事が前提となる。入間市は、最初の成功例として、県としても広めていきたいと考えている。</p> <p>県内の見本となっていきたい。</p> <p>元気なバス需要創出モデル事業におけるバス運行開始以前の安川電機への主な通勤手段は何か。</p> <p>運行開始以前は旧路線に乗り、西武グリーンヒルから歩いていた。安川電機が新工場を建てる予定があり、企業前にバス停の設置することの要望があったことから、旧路線の運行本数のうち15本を新路線分に回した。同時に、新たな運行経路上にバス停を設置して交通空白域を埋めた。</p> <p>自動車通勤からバス通勤に転換した人数を、安川電機から調査する予定であり、今後報告する。</p> <p>新路線の利用状況について補足する。</p> <p>新路線運行開始前と開始後では、利用者数は若干増えている。安川電機前で朝に多く利用してもらっているが、安川電機前以外ではまだ少ない。さらに利用していただけるよう、宣伝活動も行っていきたい。利用者がさらに増えるようであれば、運行本数も検討する。</p>

発 言 者	発 言 内 容
久保田会長	雨の日に安川電機に行く人は増えるとはあるが、晴れの日はどうに通勤しているのか。
事務局	普段は自転車通勤と徒歩通勤の人が見受けられる。
事務局 芳賀委員	<p>(資料-4 ていーろード、(仮称) ていーワゴンのルート (案) )</p> <p>ていーワゴンについて3点確認したい。一つ目として、武蔵藤沢駅までのアクセスについて、改正案は現行と比べて便利になっているか。二つ目として、夜に帰ってくる便は現行より良くなっているのか。三つ目として、JR 箱根ヶ崎駅へのアクセスはできるのか。</p>
事務局	<p>武蔵藤沢駅までのアクセスについては、ていーろードの運行本数を増やすためにワゴン車の導入を検討している。改正案では日中1時間に1本のダイヤを設定し、ていーろードを途中で折り返すことを目指している。具体のダイヤは検討中である。</p> <p>夜間に武蔵藤沢駅から帰ってくる便については、宮寺・二本木地区に関しては武蔵藤沢駅から三井アウトレットパーク入間行きバスがある。三井アウトレットパーク入間で、ていーワゴンに接続することが考えられる。夜間のいつまで接続を行うかについてはこれから調整する。国道16号沿いの方は、入間市博物館・二本木地区行きの路線バスが出ているので、これをご利用いただくことで対応したい。</p> <p>JR 箱根ヶ崎駅へのアクセスについては、箱根ヶ崎駅へのアクセスは地域協議会で議論したが、あまり要望がなかった。箱根ヶ崎駅へ行ける結節点として THE MALL みずほ 16 につないだ。そこから箱根ヶ崎駅行きに乗り継ぐことが可能である。方向性として意見を伺いながら作っているため、全員の希望は叶えられないことは、ご了解いただきたい。</p>
芳賀委員	ダイヤは検討中とのことだが、現在のていーろードの運行経路は長いので朝は対応できない。朝の通勤通学時間帯に乗りきれないならば本数多くして、武蔵藤沢駅までピストン運行するなど工夫はできないのか。朝と夜の

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>便は一对であり、マイカー通勤からバス通勤への転換を促すために、どちらも利便性を確保してほしい。</p> <p>夜間については、夜 10 時までは路線バスが三井アウトレットパーク入間までは行くが、そこから乗り継ぐ便が無いのでうまくやってもらいたい。</p> <p>箱根ヶ崎駅へ行く需要が無いとのことだが、今バスが無いから利用者が無いのではないか。通勤通学に必要な経路なので、時間をかけて議論すべきではないか。これから実施計画で検討していく上で、忘れずに配慮していただきたい。</p> <p>「朝に 13 人乗りのワゴン車で武蔵藤沢駅までピストン運行すると、需要に対応できない」と地域協議会で意見が出た。「路線バスで宮寺地区から武蔵藤沢駅まで運行できないか」という希望が出たので西武バスと今後相談する。また、朝に三井アウトレットパーク入間と入間市博物館から武蔵藤沢駅まで回送するバスがあるが、営業運転するのはダイヤ上難しい。道路整備が進むなど、道路事情が変わる時期に、また変更の検討を行いたい。</p>
藤田委員 (代理)	<p>県境を超えて THE MALL みずほ 16 に行くのか。</p>
事務局	<p>途中にバス停を設置せずに、THE MALL みずほ 16 で乗降する。瑞穂町とは今後、協議する。</p>
茂木委員 事務局	<p>狭山市から入間野田モールに延伸する話は出ているのか。</p> <p>笹井地区から入間野田モールや仏子駅に延伸したいとの話や、入曽地区から武蔵藤沢駅に延伸したいという話を聞いている。</p>
久保田会長 一同	<p>運行ルートは、この方針で進めていくがよろしいか。</p> <p>(意義なし)</p>
久保田会長	<p>参考資料 3 でていーろーどのカテゴリが、「市内循環バス」から「コミュニティバス」に名称が変わっているのはなぜか。</p>
事務局	<p>ていーろーどは利用者の多い地域を運行する。今回の見直しで循環しなく</p>

発 言 者	発 言 内 容
芳賀委員 事務局	なるので、一般的に使われている「コミュニティバス」という名称にした。 「（仮称）ていーワゴン」の名称は協議会で決定するのか。 協議会で決めていただきたい。「（仮称）ていーワゴン」はカテゴリとして分類するための名称である。各地区の地域協議会で、「〇〇号」といった路線の愛称を決める予定である。
久保田会長	バスは「ていーろーど」、ワゴン車のカテゴリの名称は「ていーワゴン」、その後につく「〇〇号」といった愛称は各地区の地域協議会で決めるということよろしいか。
一同	（意義なし）
事務局 藤田委員 （代理）	（資料-5 （仮称）ていーワゴン運行要領（案）） （道路運送法第4条について説明）
久保田会長 事務局	運行要領は事務局で検討して、協議会で承認するのか。それは今日か。 協議会で承認していただくが、今日ではない。
久保田会長	協議会での議論を踏まえて市と事業者等で話し合った結果を、案として次回以降の協議会に提示いただき、それで良ければ承認することとする。
山内委員 事務局	委託するタクシー会社3社との話は進めているのか。 事業者分科会の委員としては参加してもらっているが、委託事業者としての交渉はまだ行っておらず、打診している段階である。
山内委員 事務局	同意できないときは、委託事業者は減るのか。 継続していただくことが前提であり、また、乗合自動車免許や運行管理者の資格を取得してもらう必要があるため、条件に合致しなければ減ることになる。
山内委員 事務局	平成30年1月に実証運行開始とあるが、間に合うのか。 スケジュールも含めて、委員の方に入間市内のタクシー会社3社に委託し

発 言 者	発 言 内 容
睦地委員	<p>てよいか意見を伺いたい。</p> <p>資料 5 の 10 にある定員超過に伴う対応を行わなければならない。物理的に考えて市内のタクシー会社に速やかに対応してもらうのが合理的である。協議会の 1 号委員として参加している 3 社に委託するのが適切と考える。資料 2 の 5 ページで地域公共交通網形成計画の基本方針 2 に「市民、事業者、行政の協働による持続可能な仕組みづくり」とあり、「各々が協力し合う体制づくり」とある。今まで協議会に参加している 3 社は今回の背景等をご理解いただいているので、3 社に委託することが適切と考える。</p>
久保田会長 一同	<p>ていーワゴンは市内のタクシー 3 社に委託してよろしいか。</p> <p>(意義なし)</p>
芳賀委員	<p>地域協議会のメンバーはどのようなメンバーか。</p>
事務局	<p>各地区の代表者などである。</p>
細谷委員 事務局	<p>実証運行開始を 1 月中旬と急いでいるのはなぜか。</p>
	<p>地域公共交通網形成計画では、平成 29 年度中に運行開始予定と明記されている。行政や事業者と協議して、どのようにすれば期間内に運行開始できるか検討していく。もし遅れるようなことがあれば、協議会で報告する。</p>
事務局	<p>(資料-6 ていーろーど、(仮称) ていーワゴンの料金体系について(案))</p>
茂木委員	<p>料金体系が複雑なので簡潔な方法を考えてほしい。秦野市はゾーン制であり、分かりやすい。特別乗車証の紛失が多く、発行の手間もかかっている。乗継料金として子供料金を用いるのは理屈が合わない。</p>
藤田委員 (代理)	<p>ていーろーどとていーワゴンを乗り継ぐ際に、行きと帰りで運賃が異なる件について、料金收受の設定が難しいのか、あるいは全くできないのか。運賃が異なる件については制度上認められるのか確認するが、簡潔な料金</p>



発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>体系がよい。</p>
事務局	<p>西武バスによると、IC カード利用時に 100 円引きを行うという設定に、費用をかなり要するとのことである。</p>
藤田委員 (代理)	<p>きちんと説明できる体系にする必要がある。</p>
畦地委員	<p>資料 2 の 7 ページに、地域公共交通網形成計画で免許返納者への対応を行うことが記されている。他自治体では運転免許を返納した場合に、コミュニティバスが 1 年間無料になったり、タクシーの割引券等を配布したりすることによって免許返納を促進している。埼玉県では免許返納者が年 2 万 2000 人、入間市では年 471 人、狭山市は年 595 人、所沢市は年 1200 人いる。免許返納者は今後増えていくとみられる。免許返納を促すような料金体系の予定はあるか。</p>
田雑委員	<p>全体の交通政策の中で回数券の無料配布などを検討していく。今後、情報提供もしていく。</p>
久保田会長	<p>料金体系については、分科会でも議論を継続していただきたい。障害者の無料に加えて、障害者の介助者を無料にする事例も参考にしていきたい。</p>
事務局	<p>(資料-7 入間市公共交通再編に向けたスケジュール)</p>
久保田会長	<p>第 8 回協議会を閉会します。</p>
5. 閉会	

発 言 者	発 言 内 容
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p>	
<p>年 月 日</p>	
議 長 の 署 名	_____
議長が指名した者の署名	_____

## 第8回入間市地域公共交通協議会 出欠者名簿

平成29年5月17日

区分	機関名	職名	氏名	出欠	
1	西武鉄道㈱	計画管理部鉄道計画課長	長 田 裕 太 郎	×	
2	西武バス㈱	取締役運輸計画部長	山 内 智 矢	○	
3	西武ハイヤー㈱	業務部長	藤 原 康 之	○	
4	丸大観光㈱	代表取締役	齋 藤 栄 作	○	
5	松葉交通㈱	代表取締役社長	松 原 緑	○	
6	国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局	首席運輸企画専門官	藤 田 幸 也	○ (代理出席2名)	
7	国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所	副所長(技術)	相 沢 興	×	
8	埼玉県	企画財政部交通政策課交通企画・ バス担当主査	畦 地 英 樹	○	
9	埼玉県飯能県土整備事務所	道路環境部長	今 井 祥 晋	○	
10	埼玉県警狭山警察署	交通課長	鈴 木 孝 彦	○ (代理出席1名)	
11	4号委員	公 募	荒 岡 真 由 美	×	
12	4号委員	公 募	芳 賀 隆 夫	○	
13	5号委員	理工学研究科 環境科学・社会基盤 部門 教授	久 保 田 尚	○	
14	5号委員	理工学研究科 環境科学・社会基盤 部門 准教授	小 嶋 文	×	
15	6号委員	西武バス労働組合	執行委員長	小 河 憲 司	×
16	7号委員	豊岡地区区長会	扇町屋第2区副会長	久 保 富 美 子	○
17	7号委員	東金子地区区長会	東金子体育協会幹事	塚 原 と み 子	○
18	7号委員	金子地区区長会	前金子地区区長会長	双 木 茂 芳	○
19	7号委員	宮寺・二本木地区区長会	前宮寺・二本木地区区長会長	細 谷 秋 雄	○
20	7号委員	藤沢地区区長会	藤沢地区交通安全母の会会長	齋 藤 勝 子	○
21	7号委員	西武地区区長会	西武地区第8区会長	茂 木 保 孝	○
22	8号委員	入間市	企画部長	加 藤 保 夫	○
23	8号委員	入間市	環境経済部長	山 崎 利 明	○
24	8号委員	入間市	市民生活部長	田 雑 弘 章	○
25	8号委員	入間市	福祉部長	宮 岡 実	○
27	8号委員	入間市	都市整備部長	高 橋 健 一	○
28	2号委員				
29	2号委員	計画内容により委嘱			
30					

## 第 8 回 入間市地域公共交通協議会

日時：平成 29 年 5 月 17 日（水）13 時 30 分～16 時 00 分

場所：入間市役所 5 階全員協議会室

### － 次 第 －

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議 題
  - (1)委員の交代
  - (2)平成 28 年度の振り返り
  - (3)「元気なバス需要創出モデル事業」状況報告
  - (4)ていーろーど、(仮称) ていーワゴンのルート (案)
  - (5) (仮称) ていーワゴン運行要領 (案)
  - (6)料金体系について
  - (7)今後のスケジュール
4. その他
5. 閉 会

#### 【配付資料】

- 資料－1 平成 29 年度委員名簿
- 資料－2 平成 28 年度の振り返り
- 資料－3 元気なバス需要創出モデル事業状況報告
- 資料－4 ていーろーど、(仮称) ていーワゴンルート (案)
- 資料－5 (仮称) ていーワゴン運行要領 (案)
- 資料－6 料金体系について
- 資料－7 入間市公共交通再編にむけたスケジュール
- 参考資料 1 収支予測
- 参考資料 2 月間チャッピー特集
- 参考資料 3 入間市循環バスの今後の考え方
- 参考資料 4 乗合バス料金申請・届出の流れ
- 参考資料 5 特別乗車証発行状況
- 参考資料 6 県内コミュニティバス運行状況調べ